

社団法人私立大学情報教育協会

平成 21 年度第 3 回被服学教育 FD/IT 活用研究委員会議事録

- I. 日時：平成 21 年 10 月 13 日（月）16 時 30 分から 18 時 30 まで
- II. 場所：私立大学情報教育協会事務局会議室
- III. 出席者：高部委員長、江川委員、阿部委員、軽部委員、田中委員
井端事務局長、森下、恩田

1. 次回第 4 回被服学委員会

11 月 2 日（月）16 時 30 分からの開催と決定した。

この度の委員会で審議された学士力の原案を約 10 日間で各先生方にインターネット上で意見を募り、次回委員会で再度検討し、11 月 14 日の理事会で報告する予定。

2. 検討事項

被服学教育における学士力の詳細設計について

前回からの継続審議である学士力（案）に【測定方法】を設定し、1～5の文言および【コア・カリキュラムのイメージ】、【到達度】について再度検討し、修正を行った。【到達度】と【測定方法】の内容を一致させるために中黒で表記した【到達度】を番号表記とした。修正箇所は以下の通り。

- 1. 文言「…被服の着用や被服造形などによる」を「…被服の着用など」に修正。
【コアカリのイメージ】の文末「…基礎造形」を「…基礎造形など」に修正。
- 2. 【コアカリのイメージ】「機能評価を含む被服人間工学、…」の「機能評価を含む」を削除。文末「…ファッション造形」を「…ファッション造形など」に修正。
【到達度】の(2)「被服構成の基礎を知り、…」を「被服構成の基礎を理解して、…」に修正。(3)「縫製の基礎知識を身につけ、…」を「縫製の基礎的な知識と技術を身につけ、…」に修正。
- 3. 文言「被服材料の特性を理解し、被服設計、被服デザインの着用表現ができる。」を「被服材料の特性を理解し、被服設計へ応用と被服デザインの着用表現ができる。」に修正。
【コアカリのイメージ】「アパレル素材、テキスタイル材料、…」の「アパレル素材」を削除。【到達度】の(1)「被服素材の特性を理解する。」を「被服材料の特性を理解している。」に修正。【到達度】の(2)「アパレル設計ができる。」を「被服材料の特性を活かしたアパレル設計ができる。」に修正。
- 4. 文言「繊維、アパレル産業における生産、流通の仕組みや周辺領域の産業を理解し、社会ニーズの調査・分析方法を身に付け、企画設計を考えることができる。」を「繊維、アパレル産業における生産、流通の仕組みと企画設計までのプロセスを理解すること

ができる。」に修正。

【コアカリのイメージ】「…アパレル産業・流通」を「…アパレル産業・流通など」に修正。【到達度】の(3)「アパレル製品の企画・設計をすることができる。」を「アパレル製品の情報収集、コンセプトの策定、デザインをすることができる。」に修正。

5. 文言「被服の生産、流通、消費における環境問題を理解し、環境汚染、省資源的ライフスタイルを意識し、生活の向上をすることができる。」を「被服の生産、流通、消費における環境問題を理解し、生活の向上をすることができる。」に修正。

【コアカリのイメージ】「…ライフスタイル」を「…ライフスタイルなど」に修正。

【到達度】の(1)「環境問題を理解して、被服の着用、維持管理ができる。」を「環境への影響を考えて、被服の選択、維持管理ができる。」に修正。

【測定方法】を含む学士力（案）を作成し、プリントアウトして配布された。

次回委員会は 11月2日（月）16：30～18：30まで（予定）

平成 21 年 10 月 13 日現在

被服学教育における学士力(案)

1. 被服の歴史・文化や被服の社会的、保健衛生的役割を理解し、被服の着用などによるイメージや感性の表現ができる能力を身につけている。

【コアカリのイメージ】

服飾文化史、ファッションデザイン、ファッションイメージ表現、被服心理、基礎造形など

【到達度】

- (1)被服の歴史・文化・役割を理解し、被服の社会的、保健衛生的役割を論理的に説明できる。
(2)被服のイメージや感性の表現ができる基礎能力を身につけている。

【測定方法】

- (1)は、レポートや筆記試験などで確認する。
(2)は、作品を通して感性や技術を確認する。

2. 人体を把握し、人体と被服との関係や被服構造を知り、被服の構成力を身につけ被服パターン設計に活用できる能力を身につけている。

【コアカリのイメージ】

被服人間工学、被服構成の基礎、パターン設計、縫製、ファッション造形など

【到達度】

- (1)人体の構造と機能を理解して、被服形態との関連を説明し、機能評価ができる。
- (2)被服構成の基礎を理解して、被服設計ができる。
- (3)縫製の基礎的な知識と技術を身につけ、被服造形ができる。

【測定方法】

- (1)は、レポートや筆記試験などで確認する。
- (2)は、筆記試験および実技試験などで確認する。
- (3)は、筆記試験および作品などで確認する。

3. 被服材料の特性を理解し、被服設計への応用と被服デザインの着用表現ができる。

【コアカリのイメージ】

テキスタイル材料、染色加工、アパレル設計、アパレル表現、ファッション色彩など

【到達度】

- (1)被服材料の特性を理解している。
- (2)被服材料の特性を活かしたアパレルの設計ができる。
- (3)ファッションプレゼンテーションができる。

【測定方法】

- (1)と(2)は、筆記試験、レポートなどで確認する。
- (3)は、作品制作やプレゼンテーションなどで確認する。

4. 繊維、アパレル産業における生産、流通の仕組みと企画設計までのプロセスを理解することができる。

【コアカリのイメージ】

アパレル企画、マーケティング、リテーリング、アパレル産業・流通など

【到達度】

- (1)アパレル産業の構造を理解している。
- (2)マーケティング手法について理解し、市場調査・分析の方法を身につけている。
- (3)アパレル製品の情報収集、コンセプトの策定、デザインを考えることができる。

【測定方法】

- (1)は、筆記試験などで確認する。
- (2)は、筆記試験、レポートなどで確認する。
- (3)は、レポートなどで確認する。

5. 被服の生産、流通、消費における環境問題を理解し、生活の質の向上を考えることができる。

【コアカリのイメージ】

アパレル管理、アパレル環境科学、アパレル消費経済、ライフスタイルなど

【到達度】

- (1) 環境への影響を考慮して、被服の選択、維持管理ができる。
- (2) 省資源的ライフスタイルを意識し、リサイクルなどを通じて衣生活の向上を目指すことができる。

【測定方法】

- (1)と(2)は、レポートや筆記試験などで確認する。